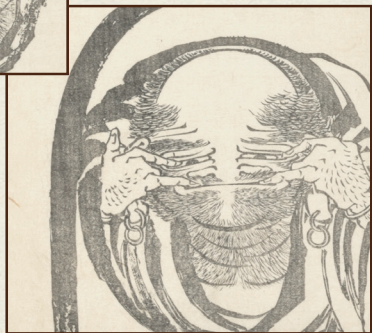




百面相



縦



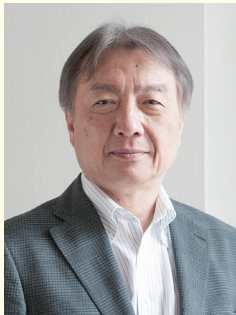
横



群盲象を撫でる

うらがみ みつる
講師：浦上 満 (浦上蒼穹堂代表)

1951年東京生まれ。獨協大学外国語学部卒業。学生時代に『北斎漫画』の魅力に取りつかれ、現在まで50年かけて1500冊以上を蒐集。質・量ともに世界一のコレクターとして知られる。東京・日本橋で東洋古陶磁を扱う「浦上蒼穹堂」を経営。東京美術倶楽部常務取締役、国際浮世絵学会常任理事、東洋陶磁学会監事。著書に『中国・朝鮮古陶磁の見かた、選びかた』(淡交社)、『北斎漫画入門』(文藝春秋)など。

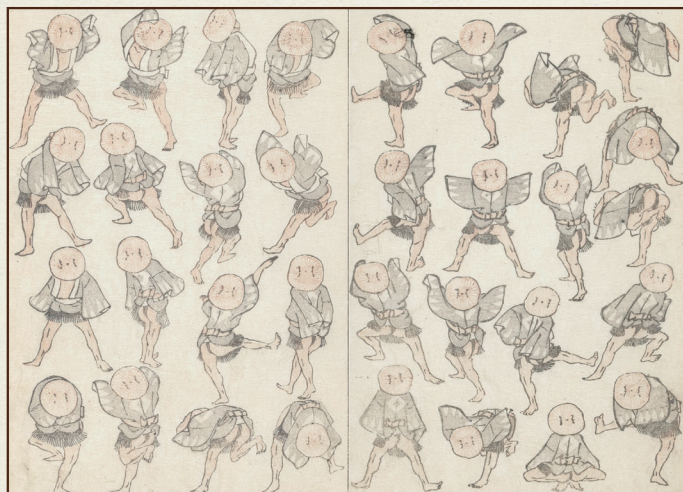


世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』



八艘飛

江戸時代後期の浮世絵師・葛飾北斎(1760-1849)は、自ら“画狂人”と称するほど終生描くことに情熱を燃やし、九十年に及ぶ人生を画業一筋に歩んだことはよく知られています。このような北斎の尽きることのない探求心が盛り込まれているのが『北斎漫画』全十五編であり、不朽の名作『富嶽三十六景』と並んで彼の代表作とされています。『北斎漫画』でいう漫画とは、折りにふれ、筆のおもむくままに描いた絵といった意味であり、森羅万象あらゆるものを題材に描き、まさに眼で見る江戸百科ともいべきものです。『北斎漫画』は、日本国内だけでなく19世紀中頃からヨーロッパにも伝えられ、ジャポニスムの流行をひきおこす原動力となり、マネやモネ、ドガをはじめとする印象派の画家にも多大な影響を与えました。今回の講義では北斎の全体像と『北斎漫画』の魅力を徹底的に解剖します。



すずめ踊り

日時 3月7日(土) 14時~16時(13時開場)

場所 獨協大学 天野貞祐記念館大講堂
東京・外口日比谷線・半蔵門線直通東武スカイツリーライン「獨協大学前(草加松原)」西口徒歩5分
*車での来校はご遠慮ください

受講 無料 定員500人 当日先着順 事前申込不要 共催：草加市

2019年度

獨協大学オープンカレッジ特別講座

獨協大学エクステンションセンター

☎048-946-1678

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1